

政治とメディアⅡ

科目ナンバリング POL-110
選択必修 2単位

天日 隆彦

1. 授業の概要(ねらい)

健全な民主主義を実現するために、メディアはどのような役割を果たしているのか。報道の仕組みを踏まえた上で、メディアと政治の関係を様々な角度から考察する。

2. 授業の到達目標

- ①報道の仕組みを理解した上で、メディアが政治に及ぼす影響について説明できる。
- ②戦後政治史の中でメディアが果たしてきた役割について、具体的事例を挙げて説明できる。
- ③「国家機密と報道の自由」について、具体的事例に即して説明できる。

3. 成績評価の方法および基準

LMSによる最終テスト(60%)と平常点(40%、課題提出など)により総合的に判断する。

4. 教科書・参考文献

教科書

芹川洋一、佐々木毅 『政治を動かすメディア』 東京大学出版会

5. 準備学修の内容

授業のポイントが理解できるよう宿題(主として選択・穴埋め式問題)を出すので、必ず提出すること。

6. その他履修上の注意事項

授業中の私語など、他の受講生の迷惑になる行為は厳禁する。

7. 授業内容

- 【第1回】 全体の授業の流れ、成績評価方法の説明
職業としての新聞記者について学ぶ
- 【第2回】 歴史としての政治記者について学ぶ
- 【第3回】 生き物としての新聞記者について学ぶ
- 【第4回】 政治とメディアをめぐる理論モデルと現実について学ぶ
- 【第5回】 選挙報道について学ぶ
- 【第6回】 「変わるメディア」について学ぶ
- 【第7回】 中間まとめ
- 【第8回】 海外における「メディアと権力」について学ぶ
- 【第9回】 戦後政治とメディア1
戦後初期の政治とメディアの関係について学ぶ
- 【第10回】 戦後政治とメディア2
外務省機密漏洩事件(西山事件)について学ぶ
- 【第11回】 戦後政治とメディア3
皇室報道について学ぶ
- 【第12回】 戦後政治とメディア4
慰安婦報道について学ぶ
- 【第13回】 戦後政治とメディア5
安倍内閣と新聞報道について学ぶ
- 【第14回】 まとめと最終テスト(オンライン)
- 【第15回】 テストの解説と総まとめ